朝日新聞　２０２２年４月５日　朝刊　１８ページ　東京Ｂ

SDGs 新聞通じて学ぶ

東大和の中学生がワークショップ

地域のSDGs（持続可能な開発目標）を考える授業を子供たちに――。東大和市の市立第一中学校で、SDGsを学ぶワークショップが開かれた。朝日新聞社CSR推進部員が講師となり、地元のSDGsに関する取り組みを学び、新聞記事をSDGsと関連づけて読む授業をした。

１年生の４学級（計約140人）が２時間ほどの授業に参加した。SDGsの説明の後、17の目標（ゴール）があしらわれた朝日新聞のオリジナル副教材「ペタッとSDGs新聞学習ふせん」を使い、関連がある記事に生徒がコメントを書いて貼り付けた。各自がコメントの理由を発表し、授業を締めくくった。

ふせんに意見を書き込む生徒＝東大和市奈良橋３丁目

同市はペットボトルやプラスチック容器を再び同じ用途などで使う「水平リサイクル」で企業と協力した全国初の取り組みを打ち出している。参加した高橋大夢さんは「新聞にはSDGsに関する世界の現状が書かれていることに気づきました」と話した。

◇

SDGs授業の申し込みは、朝日新聞のサイト（https://www.asahi.com/corporate/nie/）へ。

◎ 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

承諾番号：24-2764